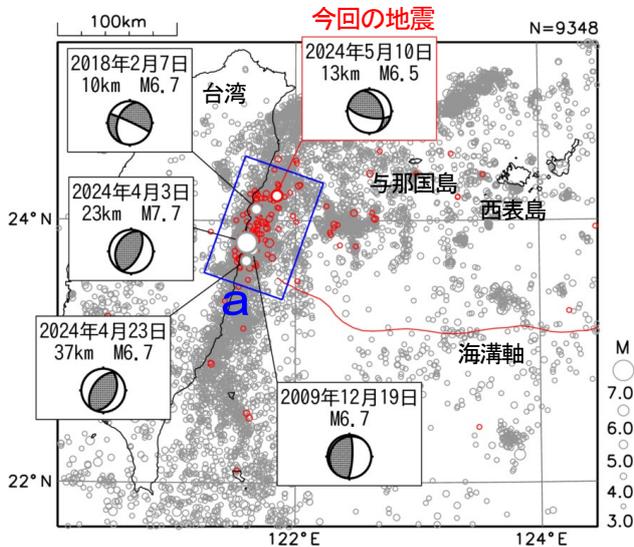


5月10日 台湾付近の地震

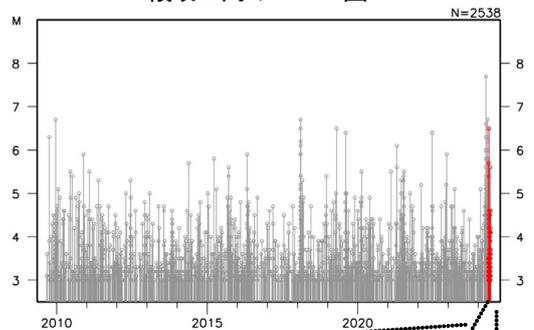
震央分布図
(2009年9月1日～2024年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)
2024年5月の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解



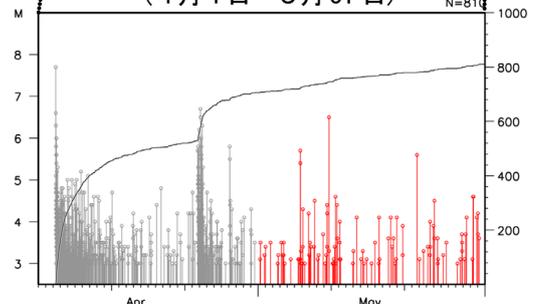
2024年5月10日16時45分に台湾付近の深さ13kmでM6.5の地震（日本国内で震度1以上を観測した地点はなし）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、北東-南西方向に圧力軸を持つ型である。この地震の震央付近（領域a）では、4月3日08時58分にM7.7の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度4）が、4月23日にM6.7の地震（日本国内で震度1以上を観測した地点なし）が発生するなど、地震活動が活発化している。

2009年9月以降の活動をみると、この地震の震央付近（領域a）では、2009年12月19日のM6.7の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度3）や、2018年2月7日のM6.7の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度2）が発生するなど、M6.0以上の地震が時々発生している。

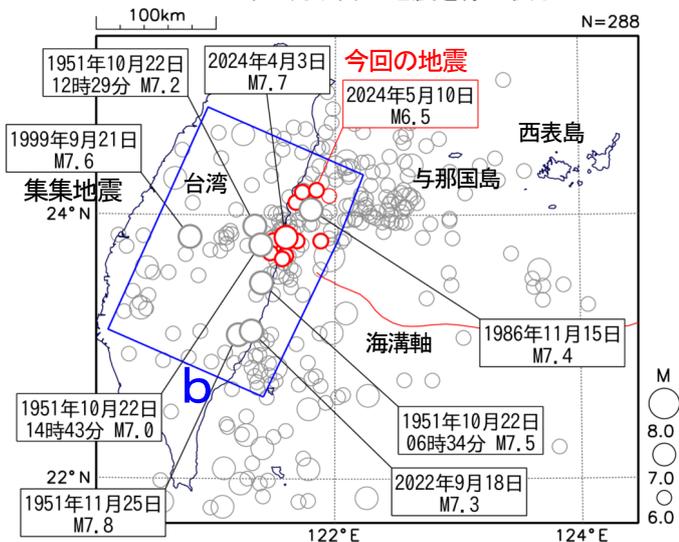
領域a内のM-T図



領域a内の回数積算及びM-T図
(4月1日～5月31日)

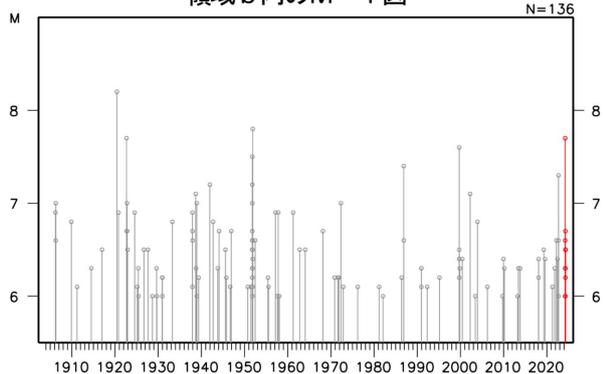


震央分布図
(1904年1月1日～2024年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)
2024年4月以降の地震を赤く表示



2018年までの震源要素はISC-GEM、2019年以降の地震の震源要素は気象庁による。

領域b内のM-T図



1904年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、過去にM7.0以上の地震が時々発生している。1951年10月から11月にかけてM7.0以上の地震が4回発生した。1986年11月15日のM7.4の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度3）により、宮古島平良で30cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測し、台湾では死者13人、負傷者45人などの被害が生じた。1999年9月21日に集集地震（M7.6、日本国内で観測された最大の揺れは震度2）が発生し、台湾では死者2,413人、負傷者8,700人などの被害が生じた。また、2022年9月18日のM7.3の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度1）では、宮古島・八重山地方に津波注意報を発表したが、津波は観測されなかった（被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による）。

気象庁作成